

みなさん、こんにちは。

みなさんの理科のべんきょうのお手伝いをするようになりました宮内といいます。

先週 6/19 の午後に校庭をひとまわりしながら、どんな生き物がいるか観察しました。

これから時どき、校内や学校のまわりの生き物などをしょうかいしていこうと思います。

みなさんも、「ここにこんな生き物がいたよ。」とか、「なんか変な雲が出ているよ。」

とか見つけたら教えてください。よろしくお願いします。

では、さっそく 6/19 に見られた昆虫をいくつか紹介します。

## シロツメクサのみつを吸うセイヨウミツバチ



この花には、ミツバチの仲間がよくやってきます。ミツバチは足で花びらを押し広げると、中に頭をつっこんでみつを吸いますが、その時おしべやめしべも出てきます。花はハチの体に花粉をこすりつけ、めしべへと運んでもらうのです。シロツメクサはみつをあげるかわりに、ミツバチに種を作るお手伝いをしてもらっているのですね。

## ルリシジミ (シジミチョウ科)



よく見かけられるチョウで、春にはウメやサクラ、夏にはシロツメクサ、秋にはハギなどにやってきます。写真でははねを閉じているのでわかりませんが、表が青いので瑠璃(るり)シジミという名前がつけました。幼虫はハギやフジなどの花や実を食べて大きくなりますが、どこでさなぎになるのかは発見されていないそうです。見つけたらおてがらですね。

## ハグロトンボ (カワトンボ科)



澄んだ水の流れるところに見られるトンボなのですが、学校のまわりだとどこにあるのでしょうか？その名のとおり、はねが黒いのですが、光の当たる角度によっては、金属のように光り輝きます。一人ぼっちがきらいで、たいてい仲間と一緒にいますが、この日見たのははぐれてしまったのか、一頭だけでとんでいました。鹿島神宮のあたりでは、カミサントンボ(神様とんぼ)と呼ばれ、「神様の使いだからとっちゃだめだ」と言われていたそうです。